

広 報 =169号

なかつえ

人口と世帯

12月31日現在
 ()内は前月比
 人口 2,250(-14)
 男 1,089(-7)
 女 1,161(-7)
 世帯数 597(-1)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・斉藤隆一

印刷・日田・朝日堂



成人を迎えた晴やかな顔
 みて下さい、この姿

幼い頃いろいろとご迷惑を
 おかけしました私たちも、
 大人の仲間入りをしました。
 これからは一人前の大人と
 して、なお一層自覚し、責
 任をもち、一生懸命にがんば
 ってまいります。

しかし、
 私たちは、まだ、巣立った
 ばかり
 暖かく、厳しいまなざしで
 見つめ、大きく、高くはば
 たかせて下さい。

行事

<1月>

- 20日 大寒
- 26日 文化財防火デー
- 28日 公民館発表会

<2月>

- 1日 成人病予防運動
- 2日 全国山火事予防運動
- 3日 節分
- 8日 針供養
- 11日 建国記念日

1978
 1月号

謹賀新年

今年頭に当り



村長 齊藤隆一

不況に明け、不況に暮れた昭和五十二年でしたが、昭和五十三年は、日本にとつては終戦直後のあの廃虚の中から立ち上った苦難の時期に次いで第二の試練の年になると思います。昨年は日ソ間の漁業交渉、その他の諸問題、日本の経済成長発展にともなう外圧、特に円高による日米経済問題、日中国交正常化問題、国内の不況克服、水田利用再編

対策による生産調整減反問題等、多数の懸案を残して越年しましたが、今年こそ正に国家の浮沈をかけた正念場の大事な年になりそうであります。村政面におきましては農林業の振興、道路の改良舗装整備等、各種事業はおおむね予定計画通り実施致しました。特記事項としては、電話の自動ダイヤル化、鯛生―石場間のスパー林道の完成、津江中学校の敷地造成事業、農産物共販所設置事業、山振調査会の調査、水資源問題等、重要な事業がありました。年末になりましたが、再編対策に基く生産調整減反問題が登場し新年に引継ぐことになりました。新年の重要施策としては

何と申しましても津江中学校の新築工事が最大の事業で財政的にもこれに重点を指向することになります。道路改良整備については、主要地方道八女―小国、日田―鹿本線ともに県界より舗装し、改良事業も両三年中に完了する目途がつきました。農林業関係では、昨年暮に完了した加工場の内容充実とこんにやくを主体にした加工事業運営が主要課題となり、さらにこれに付接して低温貯蔵庫の施設事業にも取り組む予定です。なお、水田利用再編対策減反問題を活用し、転作作物の選定を適切にして、お茶、こんにやく、そば等の特産作物の増産につとめ、農業の体質構造改善をはかりつつ複合経営の充実を目ざし

て農林業の振興を策したいと思ひます。林業関係では、郡下の森林組合の合併問題が粗上にあることと思ひますので、森林組合の育成発展の見地から林業関係者の皆さんの格別のご協力をお願い致します。お茶の主産地形成事業については減反政策と併せて、特に補助態勢を強化して推進したいと思ひます。生活改善センターの設置は、山振特対事業で本年度丸蔵、鯛生地区にそれぞれ建設致しますので、敷地の選定については特に地元の方のご協力をお願い致します。高校進学推進対策、水資源問題等につきましても、はなはだ困難な問題ですが、鋭意努力を傾注して解決を図りたいと思ひます。

以上は山振、林構、過疎対策事業、主産地形成事業、特定地域開発林道事業、制度的事業を利用して実施する場合が多いわけですが、今後さらに国で計画されている林業集落整備事業、中核林業地域指定事業、ダム周辺環境整備事業等を積極的に取り入れて、村の振興を図りたいと思ひます。なお、野田、川辺、丸蔵、鯛生等、各地のさまざまな問題点をとらえ、地域の皆さん方と相談して地域開発を図りたいと思ひますので、地区の皆さんのご知恵をお借りしたいと思います。いずれに致しましても、本村の村づくりについては、今まで種々の調査がなされておあり、特に山振調査会の報告書もできあがりまして、ので、これらを基礎にいたしまして、国、県とも十分連絡をとりながら、昭和六十年頃を目標にして、村の基本構想にもとづく基本計画を策定し、懸命の努力をつくす所存でございますので、村民の皆さんの絶大なるご支援とご指導をお願い致します。



議長 長谷部直徹

ご案内の通り円高と不況は益々その度を深め、国民生活全般に異常なまでの様相を露呈しています。政府は不況脱出対策の一つとして新年度にいまだかつてない高率かつ大幅の公共事業向けの投資を予算計上して国内産業を刺激し、対外的な面からはドル減らし策として輸出を抑え、輸入を増し景気の回復を図るとされています。このドル減らし対策の一つの大きな柱として米の生産調整稲作転換が向う十ヶ年計画として組上に上っています。さる昭和四十五年に第一次生産調整が行われ、農家の生産意欲の減退をきたした事はご承知の通りですが、近年の気象条件の悪化による米ソ両国の食糧危機等から食糧の見直しが必要とされ、少しづつ

つ意欲の向上の兆しが見え始めていた矢先に第二次生産調整が打ち出されたのです。すなわち本年度より三ヶ年を第一次目標年度として従来行われてきた調整面積(収量)の二倍以上の減反を強行する計画になっています。転作作物として麦類大豆飼料作物等となっていますが、初年度の目標が達成しなければ次年度へ繰越し加算するという、きわめて厳しい条件となっています。農林省においてはこのほか、畜産物果汁類等についても輸入拡大並びに制限品目を緩和すると発表しており、我国農業の前途は暗澹たるものがあります。以上のような状況の下で本村も色々な問題を抱えており、その一つが生産調整であり、今一つは水資源対策という所謂水問題であり、水源地域としてどのように対処すべきか、村の将来の浮沈に関する重大事としてお互いに認識を深めることが大切だと思います。さて、懸案の統合中学校の敷地造成も大部分完了し本年度は校舎、寄宿舎等の

建築という画期的な年を迎えたわけで、村を挙げてこの目的達成に全力投球を、今更のように覚悟を新たにしています。また、スーパードライドにおいては待望の鯛生、石場間が開通し、沿線の森林資源



教育長 矢野 時雄

郷土にほこりと

よろこびを

昭和五十三年の新春を迎え、村民の皆様謹んでお喜び申し上げます。村教育についての所感の一端を述べ、ご挨拶いたします。

昨年は、変転きわまりない世界情勢の中で、急速な社会の変化、異常な経済界の動きと、めまぐるしい一年でした。この中にあって、本村教育面での歩みは堅実

の活用、各種産業、文化、生活等、一段と向上するものと多大の期待がもたれています。このほか、なすべき事業が山積してはいますが、財政硬直化という厳しい情勢の下、多事多難の年と思われまます。村民各位の格段

のご指導ご鞭達をお願い申し上げます。議会と致しましても全員一致村政発展のため専念する覚悟であります。おわりにのぞみ、村民各位の益々のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

そのもので、学校教育、社会教育、その他について、教育関係者のたゆみない努力と村当局ならびに村民皆様の格別のご協力により、予期以上の成果を上げ得ましたことは、ご同慶に堪えないところであります。

育課程)が漸次軌道修正され、「小、中、高校の教育を一貫的にとらえ、その内容を、量質ともに精選し、「ゆとり」のある、豊かな人間性をつちかう、充実した学校生活の実現」を目指したものとなります。

特に念願の統合中学「津江中学校」の建設も、皆様の限らないご支援の下に、五十二年度中に「用地造成が地元業者、自衛隊の尽力によりおこなわれ、広大な理想の校地が完成し、本年、五十三年度は、鉄筋の「校舎、寄宿舎」が建築され、五十四年四月には「新校舎」で授業が開始されます。又この年度内に「体育館、プール等」が建設整備される運びとなっています。

本村は今、往時の人口は望むべくもありませんが、祖先、先人がのこしてくれた輝かしい業績を、だいに継承し、郷土での生活に「ほこり」と「よろこび」をもち、心のかよい合う、真の教育の実現に邁進致したいと存じます。

また、本年度より、わが国に於ける学校教育目標(教

本年も変ることなき村民皆様の教育に対する温かいご理解、ご支援、ご協力を切にお願い申し上げますと共に、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈りし、年頭のご挨拶いたします。

水田利用再編対策

(米の生産による減反)

基本的な進め方が決まる

米の生産調整による減反のことを今回は「水田利用再編対策」といいます。名称は違っても目的は同じであって、米の生産を調整して水田を減反することに変わりはありません。しかし、前回(昭和四十五年)から五ヶ年間(昭和四十五年)実施された米の生産調整より改正された点は、実施期間と減反した水田の利用対策です。今回の減反は、必ず米以外の何かを転作しなければなりません。そして転作する作物は、それぞれ指定されていることです。前回のようには何も植えずに休耕したり、樹木を植えたものには奨励金が出ません。減反した水田を転作によって再編し、米以外の重要な農産物の生産を転作にあわせて奨励しようとするのが目的です。そのた

めに必要な転作奨励金を転作する作物の種類にわけて額を決め、これを生産者に交付しようとするものです。転作奨励補助金は特定作物、永年作物、さらに一般作物にわけられ、特定作物が高額の奨励金となっています。**転作率(減反率)は八・四一%**

今回の水田利用再編対策は、昭和五十三年以降、おおむね十ヶ年の事業とし、これを数期(第一期は昭和五十三年度から五十五年度まで三ヶ年間とする)にわけて実施されます。また、第一期に実施される本村の転作目標面積、及び米の売渡限度数量は、転作目標面積九ヘクタール(九町歩)、米の限度数量九万九千石と決まりました。転作率(減

反率)は八・四一%です。全国平均が十三・四%、大分県平均十二・五%であり、それに近い数で指示されるのではないかと案じていたが、予想より下回っていたことは県においても山村の特殊事情を十分考慮されたものと受けとめています。

村では、県からの指示があつてから早々に、農協、農業委員会等、農業各団体と連絡協議するとともに、中津江村農林業振興協議会を開催して、それぞれの立場からの意見を聞き、さらに村のこの事業に対処する

基本的な業務の進め方等の原案を発表し、慎重審議の結果、協議会の了解を得ましたので、これによって農家戸別の転作面積と米の買入限度数量の指示額を算定する業務作業を進めています。

基本的構想に

三つのポイント

転作(減反)の基本的構想としては、主なポイントを三つあげています。その一つは、減反の水田には絶対樹木(特に杉)を植えるようにすること、二つに



は、転作による農作物は適地適産にもとづき、比較的農産物価格の安定している地域の特産物を奨励すること、三つには、農家の戸別転作(減反)面積の割当に当たっては、作付面積に即、減反率を除くというような規定の方法で算定することなく、農家別の経営の実態、転作作物を選択する種別、過去における売渡の実績等、あらゆる面を考慮し生産的、経営的、かつ合理的に算定した面積と買入量を指示し、生産者の理解と協力を得られるようにしたいと努力しています。

さらに、今回の水田利用再編対策を機会に、地域産業の見直しと振興発展もあわせて図りたいと思ひ、とくに特産物の奨励については村が指定する二、三の作目には国の奨励金のほかに村独自の奨励金を交付することも計画しています。

農家戸別指示量の算定が終るのが一月下旬の予定ですから、一月の終りか、二月のはじめ頃には農家に指示書の交付ができるものと思ひます。

議会だより

昭和51年度の決算(一般会計)

が承認されました

昭和五十二年中津江村議会第三回定例会が、昨年十二月十六日に招集され、会期は十九日までの四日間おこなわれました。

■一日目・十二月十六日

議員全員出席で開会され、議員提案の日田玖珠地域における県議会議員現行定数の確保に関する決議が全会一致で可決され、つづいて議員から米の生産調整、過疎バス対策、チェンソー等による振動病対策、アユの変形の調査結果、高校進学対策等についての一般質問がおこなわれました。

次に、村長提出議案の審議がおこなわれました。本定例会に村長から提出された議案は、次のとおりです。
 ▼専決処分の承認を求める件(一件) ▼一般職、特別職、教育長の給与改定および議会議員の報酬額の改

(歳入) (単位 千円)

款	予算額	決算額
1.村 税	59,664	60,002
2.地方譲与税	6,200	6,428
3.自動車取得税交付金	4,700	5,134
4.地方交付税	263,047	263,047
5.交通安全対策金	1	0
6.分担金負担金	10,640	10,620
7.使用料及び手数料	2,609	2,735
8.国庫支出金	42,215	42,744
9.県支出金	44,433	45,144
10.財産収入	3,877	4,137
11.寄附金	380	380
12.繰越金	13,767	13,767
13.諸収入	4,261	4,955
14.村債	83,600	83,600
15.繰入金	18,715	18,671
歳入合計	558,109	561,364

定条例案(四件) ▼昭和五十二年の一般会計および特別会計の補正予算案(四件) ▼日田郡衛生組合し尿処理に関する損害賠償事件の和解 ▼救急医療施設運営費等補助金にかかる事務の委託 ▼日田玖珠広域市町村圏事務組合規約の変更 ▼昭和五十一年度中津江村才入才出決算認定

以上十三件のうち、第一日に簡易水道事業特別会計の補正、昭和五十一年度才入才出決算認定を residual、全部が全会一致で原案の通り可決されました。主なものとして、一般会計の補正予算二千六百二十七万五千円が追加され、総額六億二千八百二十二万八千円となりました。国保特別会計の補正予算は三百二十四万四千円が追加され、総額九千八百二十四万四千円となり、農業共済特別会計の補正予算は百九万五千円の追加で、総額一千四十二万八千円となりました。なお、この日の午前中、川辺老人クラブの会員十一名の方が議会を傍聴していました。

(歳出) (単位 千円)

款	予算額	決算額	決算額の構成比
1.議会費	18,458	18,295	3.3%
2.総務費	129,889	127,522	23.3
3.民生費	49,025	45,890	8.4
4.衛生費	10,587	10,301	1.9
5.農林水産業費	74,688	74,046	13.5
6.商工費	1,613	1,476	0.3
7.土木費	112,864	112,249	20.5
8.消防費	23,226	23,110	4.2
9.教育費	90,956	89,465	16.3
10.災害復旧費	5,214	5,109	0.9
11.公債費	40,923	40,780	7.4
12.諸支出金	2	0	
13.予備費	664	0	
歳出合計	558,109	548,243	100.0

■二日目・十二月十九日

第二日目の会議は十九日に議員全員の出席で再会され、第一日目に残っていた二議案が審議されました。簡易水道特別会計の補正予算は二百四十八万三千円が追加され、総額三百九十七万七千円となりました。また、昭和五十一年度の才入才出決算認定は、一般会計および特別会計二件で、国民健康保険事業会計は、才入九千三百八十七万八千三百円、才出八千七百十七

万四千八百七円、才入才出差引残六百七十万三千二百九十六円、農業共済事業会計は、才入八百二十七万四千四百八十七円、才出八百二十二万二千二百八十五円、才入才出残額十五万二千二百二元となっています。一般会計の決算額は、才入五億六千三百三十六万三千六百六十三円、才出五億四千八百二十四万二千八百六十四円、才入才出差引残額千三百二十二万八千五百七十七円となりました。一般会計の決算額の表のとおりです。

カゼを ひかないために

タンパク質が不足すると身体の抵抗力は弱まります。そのうえ、寒さのストレスは体内のタンパク質を大量に分解します。これを補うためにも、日ごろ、肉、さかな、豆腐といった良質のタンパク質を十分にとっておくことが大切です。

また、カゼをひかないようにするには、ビタミンCが必要です。新鮮な野菜サラダ、おろし大根、さつまいもなどの一品をつけ、食後にはミカンをひとつ必ず食べるようにして、ビタミンCの補給を。

そのほか、ビタミンAは粘膜を強めて、鼻やのどからウイルスが侵入するのを防ぎます。油で料理した青菜やにんじん、レバー、バターを多くとるよう心がけましょう。

1月26日は 文化財防火デー

世界最古の木造建築・法隆寺の金堂が炎につつまれたのは、昭和24年1月26日のことです。

この不幸な出来事を教訓として、文化財を火事から守るため昭和29年に、1月26日を「文化財防火デー」と決めました。日本人の歴史と文化の軌跡を示す文化財を炎の魔の手から守ることは、私たちひとりひとりの願いであり、責任であるといえましょう。



「歳末たすけ合い運動」 ありがとうございました

みんなそろって明るいお正月を迎えて頂くため、昨年末「歳末たすけあい運動」を展開しましたところ、村民皆さんの暖いご協力とご理解のもと 103,898円(12月20日現在)の浄財を頂きました。

この浄財は、寝たきりのお年寄、重度の心身障害の方、また、長期間施設等に入り懸命に回復に努力されている方々に、民生委員会にはかり昨年内にそれぞれ配分しました。村民皆さんのご厚情に対し、心から喜ばれています。紙上を借りて厚くお礼申し上げますと共に、今後ともみんなが明るい生活、明るい社会でありますよう、物心両面のご協力をお願いします。

なお、昨年末罹災された高田八郎次氏に対し、日本赤十字社(大分支部)より見舞金および本村社会福祉協議会から金一封が贈られました。

また、昨年末、市ノ瀬部落の西森虎雄さんが、日頃から仕事の合間に編んだ毛糸の肩かけ、子ども用のセーターなど10点余りを「歳末たすけあい」の一端にと社会福祉協議会に届けられました。この品はすぐに長期療養のお年寄、施設に送られました。

民生委員が 改選されました

社会福祉の最前線の役割である民生委員の任期(3年)が、11月30日で切れ、新民生委員さんが誕生しました。

福祉が叫ばれて長くなりますが、この仕事は際限のないもので、辞められました民生委員さんの長い間の心労に対し深く敬意を表すものです。本当にご苦労さまでした。社会的、経済的に何かとすっきりしない現在、まして過疎現象の激しい本村においては、今後の民生委員さんへの期待は大なるものがあるかと思えます。

保護事業はもちろん、老人福祉、1人暮らし世帯、母子家庭等の安定のため前委員さん同様、気軽に相談して欲しいものです。

新委員さんの氏名および担当区域は表のとおりです。(敬称略)

なお、改選後、はじめての民生委員協議会が12月14日に開催され、民生委員法第25条の規定により互選の結果、総務に梶原美民氏、総務代理に長谷部忠夫氏が選出されました。

民生(児童)委員氏名
及び担当区一覽表 任期 52.12.1
55.11.30

氏名	担当区部落名
杉野新一郎	梁瀬.小野田.野田.宮田.中村.田の口
安岡セツ子	荒瀬.辛味.栃原1.2.3.二又.小園
梶原 美民	川辺.引野.八所.原部
高原 重俊	田の原.井千原.黒谷.合鶴.平野.鶴田
永瀬 幸夫	木弓.間地.山本.藤蔵.原.中西.丸蔵
末松 義明	梅野.宮園.高迫.石場
猪野布麩子	作草.堤.籾.平.吉原.中川内
藤川 一俊	下切.才野.小平田.鯛生1.2
長谷部忠夫	鯛生3.4.5.7.8.山の神
森脇 茂	市の瀬.池田.足風.宮原.柿の谷.地藏元

雑記

原稿用紙を手にして四回
目の新年を迎えました。
このところマンネリぎみの
広報なかつえ、悲しいかな
いまだ実もできず、もちろ
ん花も咲かない状態。
待たれる広報、楽しめる
広報、読まれる広報などの
格言めいた広報づくり、め
ざしたはずが、このありさ
ま……じつと手を見る。
広報という言葉から連想
するもの、時間、原稿、ペ
ン、おびえる、ためいき、
貧乏ゆすり。
新年そうそう、ぐちばか
りでは悪いものも良くはな
りません。今一度ふりかえ
り、待たれる、楽しめる、
読まれる広報づくりをめざ
したいと思えます。本年も
よろしくお願い致します。